

特別会計

特定の収入があり、目的ごとに使い道をはっきりさせるための会計です。



会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険費	84億9,454万円	83億3,470万円	1億5,984万円
公共用地等造成費	607万円	1億3,051万円	△1億2,444万円
公設卸売市場費	3,728万円	3,669万円	59万円
高等学校費	5億5,083万円	5億5,005万円	78万円
企業用地造成費	2,853万円	445万円	2,408万円
農業集落排水事業費	2億3,325万円	2億3,291万円	34万円
介護保険費	90億2,212万円	85億1,951万円	5億261万円
後期高齢者医療費	14億4,813万円	14億4,657万円	156万円
合計	198億2,075万円	192億5,539万円	5億6,536万円

企業会計

民間企業と同じように、料金などの収益で運営する会計です。

各企業会計	収入	支出	差引	
病院事業	収益的	124億6,181万円	126億4,157万円	△1億7,976万円
	資本的	2億5,490万円	8億8,484万円	△6億2,994万円
水道事業	収益的	21億1,713万円	18億7,191万円	2億4,522万円
	資本的	4億3,867万円	12億5,421万円	△8億1,554万円
下水道事業	収益的	26億5,207万円	23億6,583万円	2億8,624万円
	資本的	4億9,125万円	11億4,640万円	△6億5,515万円

収益的 病院診療報酬、水道料金、下水道使用料などの収入と人件費や維持管理費など事業の運営に必要な支出
 資本的 企業債など財源となる収入と、将来の営業活動に備えて行う施設の整備などの支出

【病院事業】 ●市立総合病院 1日平均 入院 273人 外来 749人 ●市立栗沢病院 1日平均 入院 41人 外来 46人	【水道事業】 給水戸数 42,854戸 給水人口 76,111人 総配水量 8,995,584m ³ 1日平均配水量 24,645m ³	【下水道事業】 処理区域面積 2,364ha 普及率 88.2% 水洗化率 99.2% 処理水量 11,480,296m ³
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

財産

市有財産の状況 (令和4年度末)	
建物	535,519m ²
土地	28,890,938m ²
山林	17,395,901m ²
機械器具(車両)	217台
基金	
土地	494,145m ²
現金	135億7,563万円
貸付金	7億6,850万円
有価証券	4,572万円
出資による権利	4億3,216万円

市税の負担状況	
金額	8,608,396,092円
1人当たり	113,019円
1世帯当たり	210,789円
令和5年3月31日現在	
人口	76,168人
世帯数	40,839世帯

借金

市債の残高 (令和4年度末)	
各会計	現在高
一般会計	621億8,424万円
特別会計	4億1,879万円
公共用地等造成費	1,275万円
高等学校費	3,437万円
農業集落排水事業費	3億7,167万円
合計	626億303万円

いわみざわの家計簿



問合先 財政課財務係 ☎ 35-4842

市は、4月から翌年3月までの1年間を一区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金などの入ってくるお金(歳入)と、それをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み立て、議会の議決を得てさまざまな事業を行っています。そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。今月号は、一般会計、特別会計、企業会計の令和4年度の決算の内容と令和5年度の予算の執行状況をお知らせします。

令和4年度 決算

一般会計 福祉事業や道路の整備など、市の基本的な事業の会計です。

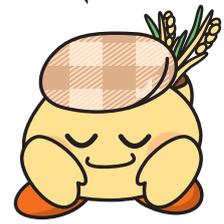
歳入 498億2,489万円	歳出 493億699万円
地方交付税 157億2,485万円 国(国税など)からの交付金 31.6%	民生費 145億710万円 児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など 29.4%
国庫支出金 98億6,822万円 使い道を特定された国からの補助金など 19.8%	総務費 71億7,467万円 住民票の発行などの一般的な事務 14.6%
市税 86億840万円 市民税、固定資産税など 17.3%	前年度比 市役所新庁舎整備に係る事業費の減少などにより、64億2,940万円減
道支出金 40億416万円 使い道を特定された北海道からの補助金など 8.0%	土木費 68億816万円 道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など 13.8%
市債 38億790万円 長期的な借入金 7.6%	公債費 57億4,566万円 借入金の元金と子子の返済 11.7%
前年度比 市役所新庁舎整備に係る事業費の減少などにより、29億5,740万円減	衛生費 42億8,557万円 ごみ処理、健康診断など 8.7%
地方消費税交付金 20億8,698万円 国からの交付金 4.2%	教育費 42億6,191万円 小・中学校教育、生涯学習など 8.6%
諸収入 19億4,376万円 貸付金の償還金など 3.9%	農林水産業費 26億6,531万円 農業・林業・畜産の振興など 5.4%
その他 37億8,062万円 各種交付金、保育料や学校給食費、市営住宅の家賃など 7.6%	商工費 20億5,888万円 商工業の発展、観光の振興など 4.2%
	消防費 12億5,595万円 消防署などの運営 2.5%
	その他 5億4,378万円 議会、公社への貸し付けなど 1.1%

収入と支出の差引額 5億1,790万円(財政調整基金へ積み立て 1億8,639万円、令和5年度へ繰り越し 3億3,151万円)

健全化判断比率など

自治体の財政状況を示す指標である健全化判断基準は、いずれの指標も基準を下回っており良好な水準です。これらの数字を上回った場合は、財政再建が必要となります。

市の借金である市債残高は増加傾向にありますが、交付税算入のある「良質な地方債」を中心に借り入れるなど、健全な財政運営に努めています



健全化判断比率			
指標名	岩見沢市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計等の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	12.10%	20%
連結実質赤字比率 一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	17.10%	30%
実質公債費比率 財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合	10.2%	25%	35%
将来負担比率 一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合	76.4%	350%	

資金不足比率		
指標名	会計名と割合	経営健全化基準
資金不足比率 国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合	資金不足が生じている会計はありません	20%

令和5年度 予算の執行状況 令和5年4月1日～9月30日

一般会計・特別会計

市債の現在高

区分	予算額	収入済額	収入率 (%)	執行済額	執行率 (%)	
一般会計の合計	497億3,918万円	216億4,990万円	43.5	194億1,387万円	39.0	
特別会計	国民健康保険費	87億4,190万円	34億1,455万円	39.1	34億1,815万円	39.1
	公共用地等造成費	1億3,351万円	70万円	0.5	1億2,951万円	97.0
	公設卸売市場費	3,829万円	2,371万円	61.9	2,181万円	57.0
	高等学校費	6億3,201万円	2億6,911万円	42.6	2億6,158万円	41.4
	企業用地造成費	966万円	2,668万円	276.1	111万円	11.5
	農業集落排水事業費	1億475万円	2,808万円	26.8	3,720万円	35.5
	介護保険費	97億7,154万円	41億3,073万円	42.3	35億9,974万円	36.8
	後期高齢者医療費	15億3,383万円	4億3,348万円	28.3	3億9,830万円	26.0
	合計	209億6,549万円	83億2,704万円	39.7	78億6,740万円	37.5

一般会計	595億2,742万円
特別会計	4億124万円

企業会計

病院事業会計		
収益的	収入	51億7,544万円
	支出	59億2,095万円
資本的	収入	8万円
	支出	5億2,218万円

水道事業会計		
収益的	収入	10億7,856万円
	支出	4億8,775万円
資本的	収入	0円
	支出	4億2,117万円

下水道事業会計		
収益的	収入	8億5,225万円
	支出	3億9,758万円
資本的	収入	6,171万円
	支出	4億93万円